

平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年 10月25日記入

基本目標	躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	32630
政策名(章)	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます	評価担当部	土木部
基本施策名(節名)	第6節 下水道の整備と管理	評価担当課	下水道管理課
施策名	下水道管理の充実	課長名	小菅 庸夫

1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

下水道は、快適な市民生活を支える重要な都市基盤施設である。汚水の処理については、人口普及率94.9パーセントとなるまで整備が進み、また、雨水対策についても浸水被害の防止体制が整えられつつあるが、下水道整備開始から既に三十数年が経過しようとしている中、下水道施設の経年劣化への対応等を始めとし、適正な維持管理の取り組みや市民に対する情報提供など下水道管理の充実が必要とされています。

下水道施設に関わる調査報告書や清掃、浚渫、管路の補修等の履歴情報は、維持管理を行う上では、重要であり、これまで蓄積されている履歴情報も膨大なものになっている。しかし、これら資料の有効活用については、一元的な処理が必要であり、計画的により効率的な維持管理を行うためのコンピューターによる下水道維持管理システムの構築に向け検討を行っている。また、下水道料金の上水道との一括納付の実施等適切な事業運営に努めています。

2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		588,656	維持管理経費の減
人件費		217,350	
市民一人あたりの事業費	1,613	1,208	
合計	993,694	806,006	

*人件費は、一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

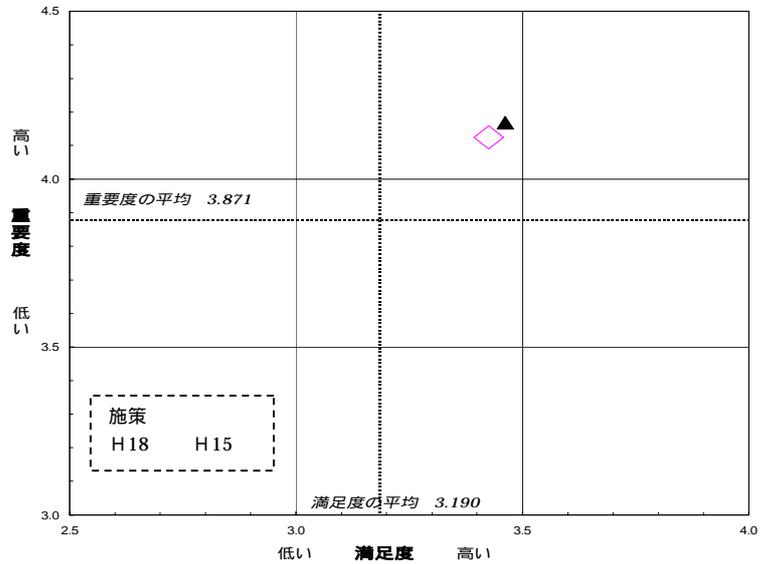
3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	水洗化率(%)	水洗化率 = 水洗化人口 ÷ 処理区域内人口 × 100 97.3% = 616,127人 ÷ 633,482人 × 100	97.3	17
指標2	下水道維持管理補修実施節減率(%)	200 - (補修実績額 ÷ 補修平均実績額) × 100 (61,178千円 ÷ 75,208千円)	118.7	17
指標3				
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	633,482 / 616,127	19	633,794	21	643,437	下水道処理区域内人口に対する水洗化普及達成率を計るもの
達成率	97.3					
指標2	75,208 / 61,178	19	100	21	100	適切な維持補修を行うことにより、管理経費の節減、下水道施設の延命化を計る
達成率	118.7					
指標3						
達成率	#DIV/0!					
指標4						
達成率	#DIV/0!					
指標5						
達成率	#DIV/0!					

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.426で51施策の中で3番目。
 重要度は4.125で12番目である。
 改善要望度は0.0126で24番目である。
 年齢別にみると、満足度は60歳以上で高く、40歳代で
 もっとも低くなっている。
 重要度は60歳代でもっとも高く、30歳代でもっとも低く
 なっている。
 前回調査と比較すると、満足度、重要度ともに施策の順
 位は前回調査と同様である。
 満足度の順位では、前回調査と大きな差はみられず、全
 ての年代で上位10施策に入っている。
 重要度の順位では、20歳代で上がっている。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	2	汚水の処理については人口普及率94.9%となっている(指標1)	
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	4	適切な維持補修などにより、維持管理経費が減少している。(指標2)	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4	平成18年度市民満足度調査結果による	
合計		10	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	1次評価 A

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	整備区域の拡大と供用年数の経年に伴う維持管理経費の増大が見込まれる
解決策	総合的な施設の現状診断と計画的な改修や補修等により施設の延命化を図る

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

成果を表す指標の設定が難しい施策であるが、効率性において、効果が高い事業構成となっているとはいいい難い。施策目的に適合した指標の設定を検討すべきである。 今後は、維持管理費の増大が予想される中、より一層の効率的・効果的な事業実施を図る必要がある。	2次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

